

PRODUCT GUIDE

製品カタログ

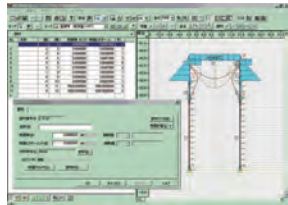


EX エクシードシリーズ 構造解析・断面

MY-FRAME 平面骨組解析

任意平面骨組構造物に面内荷重および面外荷重が作用する場合の構造解析を行います

任意平面骨組構造物に面内荷重および面外荷重が作用する場合の構造解析プログラムです。解析手法は変位変形法を採用し、連立方程式の数値解析としてコレスキー法に変形を加え、メモリー効率を高めたスカイライン法によって解析しております。作用荷重・支点条件・組み合わせ荷重などが柔軟に設定することができ、変位・曲げモーメント・せん断力などの解析結果は、画面上で確認でき、多機能な汎用基本システムです。



PR プライムシリーズ 構造解析・断面

MY-FRAME・3D立体骨組解析／英語版

任意形立体骨組構造物に集中荷重、分布荷重などが作用する場合の構造解析を行います

任意形立体骨組構造物に集中荷重、分布荷重などが作用する場合の構造解析を行うシステムです。解析手法は変位変形法を採用し、連立方程式の数値解析としてコレスキー法に変形を加え、メモリー効率を高めたスカイライン法によって解析しております。作用荷重・支点条件・ばね部材、連成ばねなどを柔軟に設定することができ、変位・曲げモーメント・せん断力などの解析結果が画面上で確認できる汎用的な立体骨組解析が可能です。



EX エクシードシリーズ 構造解析・断面

板(円形・長方形)の計算(有限要素法)／
板(円形・長方形)の計算(簡易法)

円形、長方形板に荷重が作用する場合の、断面力を算出し、応力度照査をするプログラムです

円形、長方形板に荷重が作用する場合の、断面力を算出し、応力度照査をするプログラムです。有限要素法により断面力を算出する「板(円形・長方形)の計算(有限要素法)」と、級数解により断面力算出する「板(円形・長方形)の計算(簡易法)」の2つの製品より構成されます。



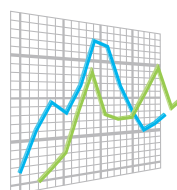
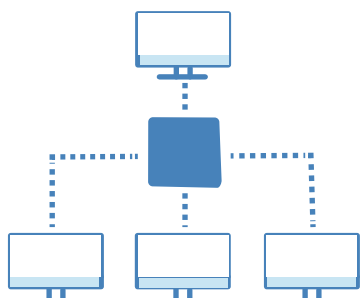
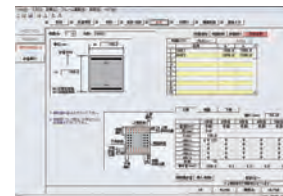
EX エクシードシリーズ 構造解析・断面

SECT-RC RC断面設計

コンクリート構造物の力学的性能照査を行います

コンクリート構造物の力学的性能照査を行う製品です。性能照査方法として、次の3つから計算方法を選択できます。

- 1. 許容応力度法**：コンクリート部材を弾性体と仮定して、発生する応力度が許容値以内であることを照査します。
- 2. 限界状態設計法**：不確定要因毎の安全係数により合理的に性能評価する設計法です。終局限界状態/使用限界状態/疲労限界状態に至らない事を照査します。
- 3. 耐震設計法**：構造物の非線形域の変形性能を考慮して地震時による荷重を静的に設計する設計法です。
- 4. 部分係数法**：道路橋方書・同解説に基づき耐久性能照査・耐荷性能照査を行います。



片持ばり式擁壁の設計

安定計算から部材検討までの
一連の計算を行います

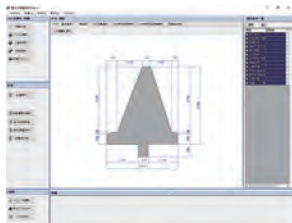
「道路土工・擁壁工指針」、「盛土等防災マニュアルの解説」などにに基づき、擁壁の断面形状は、逆T型、L型、逆L型及び任意型に対応し、安定計算（直接基礎の計算）／部材計算（堅壁の計算、底版の計算、突起の計算、張出部の計算）／杭基礎の安定計算から構成され、各種準拠指針による土圧計算方法、荷重の選択、基礎の対応などの機能を有しています。許容支持力度並びに極限支持力を満足する改良層厚の検討が行えます。また、背面盛土、切土、基礎地盤を含む円弧すべり等による全体安定計算を行うことができます。決定された構造寸法並びに配筋情報をDRAFT-MAN擁壁配筋図連動版に連動させ構造図並びに配筋図を作成することが可能です。



重力式擁壁の設計

安定計算から部材検討までの
一連の計算を行います

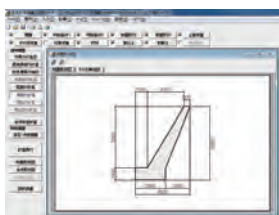
「道路土工・擁壁工指針」、「盛土等防災マニュアルの解説」などにに基づき、擁壁の断面形状は重力式及び任意型に対応し、安定計算（直接基礎の計算）／部材計算（堅壁の計算、底版の計算、突起の計算、張出部の計算）／杭基礎の安定計算から構成され、各種準拠指針による土圧計算方法、荷重の選択、基礎の対応などの機能を有しています。許容支持力度並びに極限支持力を満足する改良層厚の検討が行えます。また、背面盛土、切土、基礎地盤を含む円弧すべり等による全体安定計算や重力式コンクリートダム（調整池）に類する構造形式の安定計算を行うことができます。



もたれ式擁壁の設計

安定計算から部材検討までの一連の計算を行います

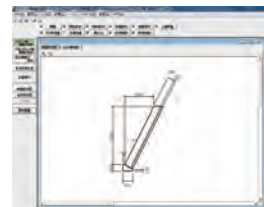
「道路土工・擁壁工指針」、「盛土等防災マニュアルの解説」などにに基づき、擁壁の断面形状はもたれ式及び任意型に対応し、安定計算（直接基礎の計算）／部材計算（堅壁の計算、底版の計算、突起の計算、張出部の計算）／杭基礎の安定計算から構成され、各種準拠指針による土圧計算方法、荷重の選択、基礎の対応などの機能を有しています。許容支持力度並びに極限支持力を満足する改良層厚の検討が行えます。また、背面盛土、切土、基礎地盤を含む円弧すべり等による全体安定計算を行うことができます。



ブロック積擁壁の設計 /Light版

ブロック積擁壁／大型ブロック積擁壁／
混合擁壁の設計を行います

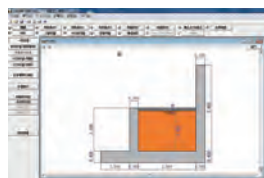
各準拠指針に基づきブロック積擁壁、大型ブロック積擁壁ならびに混合擁壁の設計を行うことができます。断面計算については、大型ブロック積擁壁のみとなります。「作用力の算定」、「安定計算」、「限界高」の各計算を行うことができます。また、背面盛土、切土、基礎地盤を含む円弧すべり等による全体安定計算を行うことができます。
※Light版はブロック積擁壁の設計機能のみの製品です。



U型擁壁の設計

「道路土工 擁壁工指針」などにに基づきU型擁壁の設計を行います

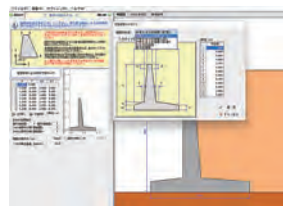
「道路土工 擁壁工指針」などにに基づきU型擁壁の設計を行います。U型擁壁の形式は、掘割道路や立体交差の取り付け部に用いられる掘割式U型擁壁（直接基礎に対応）及び橋梁などの高架部との取り付け部で用いられる中詰め式擁壁（直接基礎・杭基礎に対応）に対応し、安定計算／杭基礎の安定計算／部材設計から構成されています。また許容支持力度並びに極限支持力を満足する改良層厚の検討が行えます。



任意形擁壁設計システムST版／EX版

擁壁に対する安定計算及び断面計算を行います

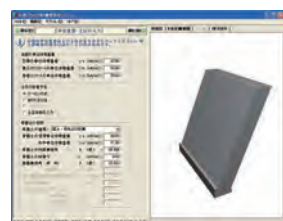
さまざまな形状の擁壁に対する安定計算及び断面計算を行うシステムです。断面形状を座標値で入力するため、さまざまな擁壁に対応可能です。入力を行いながら画面上に断面図を表示するため入力ミスを未然に防ぎます。擁壁前面側に張出し部を設けることも可能です。EX版では全体安定の検討を行うことが可能です。「群知能」を使用したアルゴリズムによる自動計算に対応しています。



石積（ブロック積）擁壁設計システム

盛土部・切土部に設置する石積擁壁の安定計算を行います

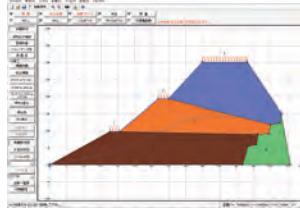
盛土部及び切土部に設置する石積擁壁（ブロック積擁壁）の安定計算を行うシステムです。転倒に対する検討は「示力線法による方法」または「偏心距離による方法」のどちらかを選択することが可能です。また、その他に「滑動に対する検討」、「支持地盤の支持力に対する検討」を行う事が可能です。



斜面の安定計算

最小安全率・必要抑止力の
斜面の安定計算を行います

斜面の安定計算、液状化の計算を行うプログラムです。斜面の安定計算では、最小安全率及び必要抑止力の算出、逆算法では所定の安全率に対する土質定数 ($C - \tan \phi$) を計算します。液状化の検討では、抵抗率 FL を算出し液状化の検討を行います。

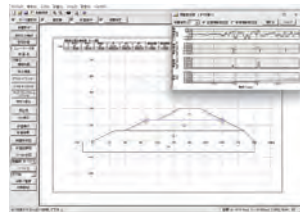


ニューマーク法による円弧すべりの計算

すべり安定計算に加速度波形を考慮し、
すべり土塊の剛体変位量を求めます。

斜面の
安定計算
オプション

「斜面の安定計算」のオプション製品です。ニューマーク法による円弧すべりの計算では、「円弧すべり」のみとし、解析式は簡易Bishop法、採石技術指導基準書以外の解析式に対応しています。また、地震波形を登録することが可能で、「道路橋示方書V標準波形ファイル」を予め登録しています。

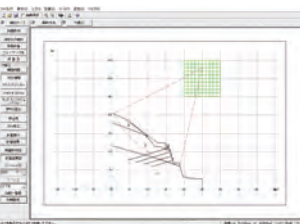


斜面对策工オプション

各斜面对策工の設計を行います

斜面の
安定計算
オプション

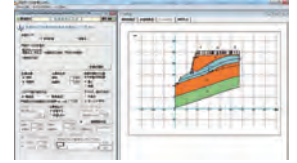
「斜面の安定計算」のオプションとして、「切土補強土工」、「グラウンドアンカー抑止工」、「ジオテキスタイル」、「サンドコンパクションパイル」、「押え盛土工」、「のり枠工」、「抑止抗」の各斜面对策工の設計を行うプログラムです。また、補助機能として各対策工の結果を用いた対策工比較一覧表の作成 (Excel) 機能も有しています。



円弧すべりの計算システム

円弧すべりによる安全率・
必要抑止力の計算を行います

円弧すべりによる安全率・必要抑止力の計算、及び所定の安全率に対する土質定数 ($C - \tan \phi$) を求めるシステムです。常時・地震時の計算を行う事が可能です。



ボックスカルバート設計システム

一連式ボックスカルバートの
横断方向の設計を行います

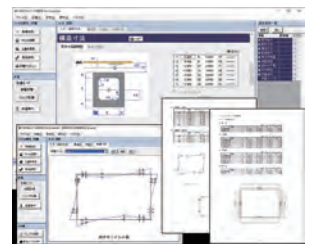
単ボックスの横断方向の設計を行うシステムです。一連式ボックスカルバートの横断方向設計、ボックスカルバートの形状を3次元で確認。ハンチなしの形状にも対応しています。



BOXカルバートの設計 for V-nasClair

KTS社製の建設系CAD「V-nasClair」
とデータ連携し効率的に
ボックスカルバートの設計が行えます

川田テクノシステム株式会社製の建設系汎用 CAD 「V-nasClair」 のアドオン製品「3D 道路構造物モデリング STR_Kit」とデータ連携し、効率的にボックスカルバートの設計が行えます。適用基準として「道路土工 カルバート工指針」、「土地改良事業計画設計基準及び運用・解説 設計 (水路工)」、「下水道施設の耐震対策指針と解説」に基づき、ボックスカルバートの断面方向の計算、ウイングの計算を行います。連携データとして、ボックスカルバートの断面寸法およびウイング寸法のデータを「STR_Kit」から連動します。ボックスカルバート、ウイングの照査結果を「STR_Kit」へ返し、判定結果として「STR_Kit」側で確認することができます。

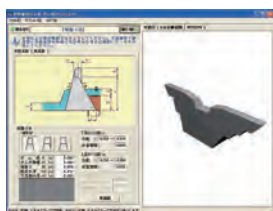


砂防施設(えん堤・ダム)設計システム ST版/EX版

重力式コンクリート砂防えん堤の設計を行います

国土交通省『砂防基本計画策定指針』、『土石流・流木対策設計技術指針』に基づいた不透過型、透過型※1、部分透過型※1の重力式コンクリート砂防えん堤(砂防ダム)の設計を行います。水通しの設計、本体のり勾配の検討、本体の安定計算、袖部ブロックの設計、水叩きの設計、側壁護岸の設計が可能です。

※1 透過型及び部分透過型はEX版のみ対応しております。



待受け擁壁の設計

「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律関係資料」などに基づき待受け擁壁の設計を行います

「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律関係資料」、「崩壊土砂による衝撃力と崩壊土砂量を考慮した待受け擁壁の設計計算事例」に基づき待受け擁壁の設計を行います。

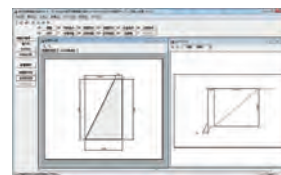
断面形状は、「重力式」、「重力式(裏法コンクリート付加)」、「もたれ式」、「片持ばり式」、「任意型」に対応し、安定計算は、常時、地震時、崩壊土砂衝撃力作用時、崩壊土砂堆積時の転倒、滑動、支持に対する安定計算を行います。部材設計は、縦壁、底版の応力度計算を行います。



落石防護擁壁の設計

落石防護擁壁の設計を行います

「落石対策便覧」に基づき「落石防護擁壁の設計」を行います。断面形状は「重力式」、「もたれ式」、「片持ばり式」、「任意型」に対応し、安定計算は、常時、地震時、落石時、土砂堆積時、落石防護柵吸収時の転倒、滑動、支持力に対する安定計算を行います。部材計算は、縦壁、底版の応力度計算を行います。基礎形状は直接基礎のみです。

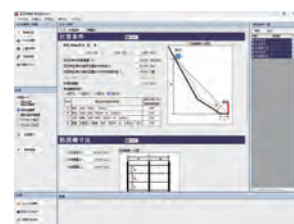


落石防護網・柵の設計

落石防護網・落石防護柵の計算を行います

「落石対策便覧」「落石対策マニュアル」などに基づき、「落石防護網(ポケット式落石防護網)」「落石防護柵」「覆式落石防護網」「ワイヤロープ掛工」「ワイヤロープ伏工」の計算を行います。

「落石防護網」は吊ロープ・支柱・金網・ワイヤロープから構成され、「落石吸収エネルギーの検討」「金網、ワイヤロープの部材照査」「支柱基部の応力度照査」の計算を行います。「落石防護柵」では支柱(H鋼)ワイヤロープから構成され、「落石吸収エネルギーの検討」「支柱・ワイヤロープの部材照査」「防護柵高の検討」の計算を行います。「覆式落石防護網」では縦ワイヤロープ・横ワイヤロープ・金網の部材照査を行います。「ワイヤロープ掛工」では支保ワイヤロープ・ロックボルトの部材照査を行います。「ワイヤロープ伏工」ではワイヤロープの部材照査・アンカーボルトの検討の計算を行います。いずれもワイヤロープ・支柱・金網の部材登録が可能です。



落石シミュレーション解析

5手法による解析により落石の挙動シミュレーションを行います

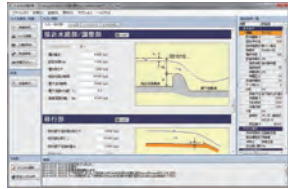
各測点タイミングでの落石の位置、落下速度、運動状況等のシミュレーション結果を多角的な解析を行い、軌跡図・停止位置・停止速度・跳躍量・跳躍高・構造物衝突速度で視覚的に落石の落下運動を表します。



ため池水理計算

流出計算により設計洪水流量を算出し、
洪水吐の水理設計計算を行います

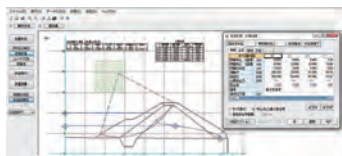
『土地改良事業設計指針「ため池整備」』に基づき、ため池における設計洪水流量の計算および洪水吐の「接近水路」・「調整部」・「移行部」・「放水路」・「減勢工」・「下流水路」および「余裕高」の水理設計計算を行います。設計洪水流量の計算及び洪水吐の設計計算は、一括計算と各個別計算が可能です。また、設計洪水流量は2つの確率年（200年確率・100年確率など）の一括計算が行え、洪水吐施設ごとに使用する流量選択が可能となります。



堤体の安定計算

堤体の円弧すべりによる安定計算
および対策工の検討を行います

『土地改良事業計画設計基準「フィルダム編」』、『土地改良事業計画設計指針「ため池整備」』、『防災調節池等技術基準』に基づき、堤体の円弧すべりによる安定計算を行います。

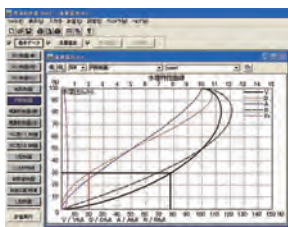


液状化の検討では、抵抗率FLを算出し液状化の判定を行います。また、液状化で求めた抵抗率FL値から過剰間隙水圧比を算出し、安定計算を行うことも可能です。逆算法では、所定の安全率に対する土質定数（ $C-\phi$ ）を計算します。また、堤体内の浸潤線の計算を各堤体形式に合わせて計算することも可能です。ニューマーク法によるすべり土塊の剛体変位量（滑動変位量）を求めることができます。

等流の計算

河川断面、定型断面などの水深や流量を計算します

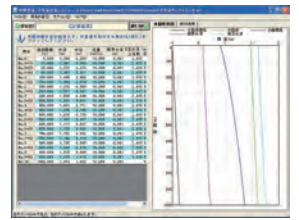
マンニング、クッター、ヘーゼンウィリアムスの公式を用いて、断面ごとに水深や流量の計算を行います。複数の流量（水深）を与え、同時に計算が可能です。又『土地改良事業計画設計基準及び運用・解説 設計「水路工」』に準拠し、計算で算出した水深及び流れの型に基づき、余裕高を算出します。



水路等流・不等流計算システム

等流計算および逐次計算法による不等流計算を行います

平均流速公式を用いた等流計算及び逐次計算法による不等流計算を行うシステムです。常流・射流いずれの計算も可能です。逐次計算法による不等流計算・各種特殊損失水頭の考慮が可能です。等流水深・限界水深などの水理計算、水理特性図の出力も行えます。



不等流の計算

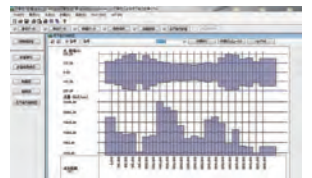
不等流の計算、圧力流れの計算並びに
余裕高の計算、流下能力の計算を行います

<不等流計算> 河川断面、定型断面において、各測点の断面形状に流量を与えてベルヌーイの定理により各測点の水深、損失水頭を求めます。

<圧力流れの計算> 自由水面を持つ常流の流れに対しては不等流計算を行い、満管以上の流れに対しては、動水勾配より水位を計算します。

<余裕高の計算> 「土地改良事業計画設計基準及び運用・解説 設計「水路工」」に準拠し、計算で算出した水深及び流れの型に基づき余裕高を算出します。

<流下能力計算> 「等流計算により行う」場合は、マンニング流量公式により各区間の流下能力を計算します。「不等流計算により行う」場合は、5ケース以上の流量を対象として不等流計算を行い、このときの水位と流量をもとに、最小二乗法により係数を算定し、各測点の計画高水位相当の水位をもとに流下能力を計算します。また、左右岸の流下能力計算を同時に計算することができます。



落差工の設計 [床止め機能版]

「直壁一体型構造」「直壁分離型構造」
の床止めの設計計算を行います

「改訂版 建設省河川砂防技術基準（案）同解説 設計編Ⅰ」及び「床止めの構造設計の手引き」の計算方法に基づき、「直壁一体型」「直壁分離型」の床止めの設計計算を行います。検討流量として最大5ケースまで設定可能とし、必要とされる対象位置での水理計算を行い、床止めの水叩き長、水叩き厚及びしゃ水工の検討を行います。全体形状図として、床止めの基本寸法とその上流及び下流側に設定される護床工の各延長、水理計算により求められる対象位置の水深が出力されます。



EX エクシードシリーズ 農林・水工

落差工の設計 [水クッション機能版]

「水クッション型落差工」の設計を行います

「土地改良事業計画設計基準及び運用・解説 設計「水路工」に基づき、「水クッション部の上下流取付水路の水理計算」・「クッション規模の比較検討」・「その他計算」を行います。上下流取付水路の水理諸元では、等流水深・限界水深・限界比エネルギー等の水理計算を行います。クッション規模の比較検討では、水クッション末端の静水圧と水クッション底に到達した位置の割合力との照査・水脈中心の傾斜角の照査・水クッション長さの計算を行います。その他計算では、落差工付近における完全越流状態の判定・落差状態の境界領域の水位・上流取付水路の検討・下流取付水路の検討を行います。

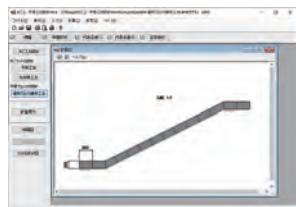


EX エクシードシリーズ 農林・水工

かご工・平張工の設計

河川護岸や斜面の補強などに使用されている「かごマット」・「角型じゃかご」・「平張ブロック」の設計を行います

じゃかごの安定計算(転倒・滑動・支持力)・掃流力の検討・金網強度の計算を行います。かごマットは平張工法と多段積工法が対象で、平張工法は代表流速の算定・掃流力の検討を行います。多段積工法は安定計算・代表流速の算定・掃流力の検討を行います。平張ブロックは連節ブロック護岸工法で、代表流速の算定・安定検討(滑動の照査(単体・群体モデル)・めくれの照査)を行います。

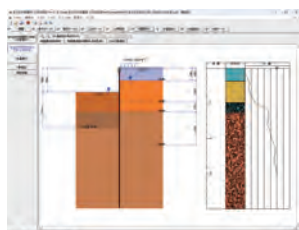


EX エクシードシリーズ 農林・水工

自立式矢板(護岸・水路)の設計

自立式の鋼矢板護岸、
コンクリート矢板型水路
の設計を行います

「災害復旧工事の設計要領」「土地改良事業計画設計基準 水路工」などに基づき、「矢板護岸」と「矢板型水路」の必要根入れ長の計算や応力度計算・変位の計算を行います。矢板護岸では、常時・地震時の検討を行い、矢板型水路では液状化時の検討も行えます。

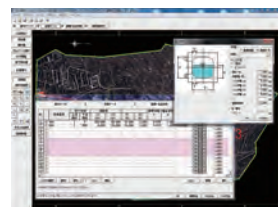


EX エクシードシリーズ 農林・水工

排水設計 / Light版

地形データを取込み、集水区域の設定により
集水面積を算出し、雨水流出量、流量計算を行います

地形データを取込み、集水区域の設定により集水面積を算出し、雨水流出量の計算を行います。各区域での定型断面における流量計算も行うことができます。また、カルバート断面の検討並びに排水ます設置間隔の検討も行うことができます。CADデータ(DXF、DWG)の地形データを取込み、流域区分の設定により集水面積を自動算出します。個別に計算実行と計算結果出力を独立して行えます。必要な計算のみ最小限の入力で動作できますので、早急な検討に威力を発揮します。



※Light版はCAD部分の機能を取り除いた製品です。

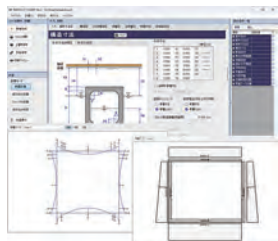
EX エクシードシリーズ [農林・水工][擁壁・土工]

BOXカルバートの設計

常時の設計及び地震時の応答変位法による
耐震設計を行います

「道路土工カルバート工指針」、「下水道施設の耐震対策指針と解説」及び「土地改良事業計画設計基準及び運用・解説設計「水路工」」に基づき、常時の設計及び地震時の応答変位法による耐震設計を行います。

検討項目は、断面方向の計算/縦方向の計算/ウイングの計算/液状化の検討を対象とします。設計可能なカルバートの断面形状は単ボックス/二連ボックス/二層ボックスとします。カルバートの構造形式は、単ボックスの現場打ち鉄筋コンクリート(RC)構造/プレキャスト(RC)構造/プレストレスト(PC)構造、二連ボックスと二層ボックスの現場打ち鉄筋コンクリート(RC)構造とします。



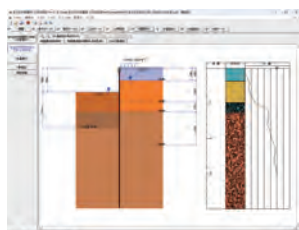
※本システムは「ボックスカルバートの設計」「ボックスカルバートの耐震設計」の後継製品となっております。

EX エクシードシリーズ 農林・水工

自立式矢板(護岸・水路)の設計

自立式の鋼矢板護岸、
コンクリート矢板型水路
の設計を行います

「災害復旧工事の設計要領」「土地改良事業計画設計基準 水路工」などに基づき、「矢板護岸」と「矢板型水路」の必要根入れ長の計算や応力度計算・変位の計算を行います。矢板護岸では、常時・地震時の検討を行い、矢板型水路では液状化時の検討も行えます。



PR プライムシリーズ 農林・水工 開発

排水計画(雨水・污水)システム

計画汚水量・計画雨水量の計算などを行います

計画汚水量、計画雨水量の計算を行い分流式、合流式の排水路の流下能力の検討を行うシステムです。浸透施設を併用した簡易式による必要調節池容量の計算も可能です。



集水桝の設計

安定検討、側壁および底版の部材断面の検討を行い、許容応力度法により応力度の照査を行います

小規模な集水桝構造を対象とした安定計算と側壁及び底版の部材計算を行います。側壁の形状は、直壁・外側傾斜・内側傾斜・両側傾斜の設定が可能で、開口部（矩形・円形）を設ける事ができます。

安定計算では浮上り検討と支持力検討を、部材計算では（長方形スラブによる計算、フレーム計算による方法、「設計便覧(案)(近畿地整H24)」による計算）から選択し、側壁及び底版の応力度照査を行うことができます。

安定計算、部材計算の検討においては、各種荷重の組合わせを設定可能とし、部材断面の検討では最大10ケースまで荷重の組合わせを設定可能です。

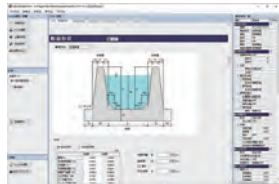
土圧は（常時・地震時…クーロン土圧、試行くさび法）（常時のみ…ランキン土圧、内部摩擦角と粘着力を有する場合の土圧、内部摩擦角を無視する粘性土の場合の土圧、静止土圧）のいずれかより設定可能です。



U型水路の設計

U型水路の常時・地震時の安定計算及び部材設計を行います

『土地改良事業計画設計基準及び運用・解説 設計「水路工」』に基づいて、U型水路の常時・地震時の安定計算及び部材設計（側壁・底版）を行うことができます。水路形状は、「定型断面」、「背面傾斜型」、「蓋付水路型」の各形状に対して計算を行うことができます。「定型断面」では、左右対称断面並びに左右非対称の断面に対応可能です。また、「蓋の設計」を行うことができます。



更生管の設計

「自立管」と「二重構造管」の計算を行います

「管きょ更生工法における設計・施工管理ガイドライン」「下水道施設の耐震対策指針と解説」などに基づき、常時の構造設計、地震時の耐震設計を行います。常時の構造設計は、「下水道用硬質塩化ビニル管」、「下水道用強化プラスチック複合管」と同様の計算方法を用いて自立管、あるいは二層構造管の「必要管厚」を算定します。地震時の耐震設計は、「耐震指針」及び「耐震計算例」記載の「一体構造管きょ」と同様の計算方法を用いて行い、自立管の地震時耐力を照査します。地震動による拔出し量の計算は、「一体構造管きょ」「差し込み継手管きょ」から選択が可能です。



管路の設計

とう性管、不とう性管を対象として埋設深の検討および、常時、地震時（レベル1、レベル2）における管体の安全性の照査を行います

『土地改良事業計画設計基準及び運用・解説 設計「パイプライン」』、『下水道施設計画・設計指針と解説』などに基づいて、とう性管、不とう性管を対象として埋設深の検討および、常時、地震時（レベル1、レベル2）における管体の安全性の照査を行います。管体の安全性の照査では、土圧や自動車荷重等の活荷重による外圧や、静水圧や水撃圧等による内圧に対して安全な耐圧強度を有する管種を選定します。



管の耐震設計

とう性管、不とう性管を対象として埋設管の縦断方向の耐震設計を行います

『土地改良事業計画設計基準及び運用・解説 設計「パイプライン」』、『下水道施設の耐震対策指針と解説』などに基づいて、とう性管、不とう性管を対象として埋設管の縦断方向の耐震設計を行います。また、液状化の判定および液状化による浮き上がりの検討や、人孔と管きょ、または管きょと管きょの接合部の検討、管軸方向の強度検討を行うこともできます。



スラストブロックの設計

滑動に対する検討、浮上に対する検討、沈下に対する検討を行います

『土地改良事業計画設計基準及び運用・解説 設計「パイプライン」』などに基づき、とう性管、不とう性管を対象として屈曲部、分岐部、T字管、片落ち部、弁栓部、鉛直 S ベンド管に対してスラスト力の検討を行い、対策工の要否を判定します。スラストブロックの設計では、滑動の検討、浮上の検討、沈下の検討を行います。



一体化長の計算

「溶接・接着・溶着等による接合」および「離脱防止継手による接合」が選択可能です

『土地改良事業計画設計基準及び運用・解説 設計「パイプライン」』などに基づき、とう性管、不とう性管を対象として屈曲部、分岐部、片落ち部、T字管、弁栓部、鉛直 S ベンド管に対してスラスト力の検討を行い、対策工の要否を判定します。また一体化長の計算として、「溶接・接着・溶着等による接合」および「離脱防止継手による接合」が選択できます。



仮設工

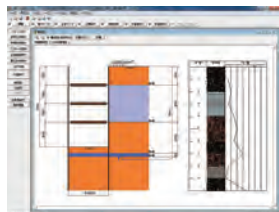
EX エクシードシリーズ 仮設工

土留め工の設計

自立式・切梁式による土留め工及び締切工の設計を行います

「道路土工 仮設構造物工指針」などにに基づき、慣用法による自立式・切梁式の「土留め工の設計」、「土留め・締切工の設計」及び「矢板建込の設計」を行うことができます。慣用法は、小中規模（掘削深さ10m程度まで）の仮設土留めを対象とした設計法です。

「支保工の設計」「中間杭の設計」「土留め壁支持力」「覆工桁の設計」や周辺地盤の簡易「沈下予測の計算」も行うことができます。またオプション製品の「グラウンドアンカーの設計」と連動し、アンカーの設計が可能です。



EX エクシードシリーズ 仮設工

たて込み簡易土留めの設計

「スライドレール方式」および「縦梁プレート方式」のたて込み簡易土留めの設計を行います

「スライドレール方式」は、パネルの設計・スライドレールの設計・切梁および捨梁の設計・ヒーピングの検討を行います。「縦梁プレート方式」は、プレート設計・縦梁の設計・縦梁連結部の設計・切梁および捨梁の設計・ヒーピングの検討を行います。



EX エクシードシリーズ 仮設工

弾塑性法による土留め工の設計

弾塑性法(拡張法)により土留め工の検討を行います

「道路土工 仮設構造物工指針」などにに基づき、弾塑性法(拡張法)により土留め工の検討を行います。検討内容は、根入れ長の計算・ボーリングの検討・ヒーピングの検討・盤ぶくれの検討・パイピングの検討の他、定常性による根入れ長の検討・各施工段階における壁体の変位及び断面力の計算などの検討が行えます。本システムで計算が可能な工法は次の通りです。

- ◎鋼矢板方式
- ◎親杭横矢板方式
- ◎鉄筋コンクリート地中連続壁方式
- ◎ソイルセメント柱列式連続壁方式



EX エクシードシリーズ 仮設工 災害対策

耐候性大型土のうの設計

耐候性大型土のうの外的安定計算/内的安定計算/全体安定計算/流体力照査を行います

耐候性大型土のうの仮設土留め構造物、仮設護岸、締切工の設計に対応しています。『耐候性大型土のう積層工法 設計・施工マニュアル「第2回改訂版」』などにに基づき、内的安定計算(袋体の圧縮耐力照査)、外的安定計算(転倒、滑動、支持力に対する照査)、全体安定計算(円弧すべり)、流体力照査を行います。断面形状は、基礎安定用土のうの配置、遮水シートの設定、袋体形状をもたれ形状にモデル化した計算が可能です。背面形状はレベル、一定勾配、台形、任意形状から選択が可能です。土の開始位置を前面、背面から選択し、開始位置幅、落差高さの指定を行うことができます。土砂条件では土圧計算法を試行くさび法、クーロン土圧、任意土圧から選択でき、マニュアルに基づいた土砂定数の自動入力にも対応しています。

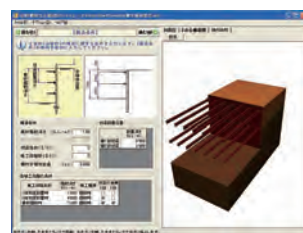


PR プライムシリーズ 仮設工

山留(慣用法土留)設計システム

山留め壁(土留め壁)の慣用法による設計を行います

「道路土工 仮設構造物工指針」及び「山留め設計施工指針」を参考に切梁式、自立式の鋼製矢板壁または親杭横矢板壁の設計を行います。また、支保工の設計、掘削底面の安定検討(ヒーピング、ボーリング、盤ぶくれ)も可能です。



PR プライムシリーズ 仮設工

土留めFEM解析

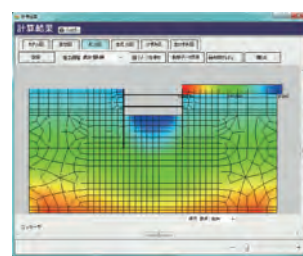
自立式および切梁式の矢板土留め工に特化したFEMによる地盤変形解析を行います

自立式および切梁式の矢板土留め工に特化したFEMによる6地盤変形解析を行うシステムです。掘削前～最終掘削段階までのステップ解析に対応し、切梁位置、層厚などを元にメッシュを自動生成して解析を行います。また、地盤の材料モデルは線形-弾性モデル、Drucker-Pragerモデル、双曲線モデルに対応しています。ソルバーにはDACSAR*を使用しています。

※DACSARは太田秀樹教授、飯塚敦教授によって開発されたプログラムです。

※DACSARの著作権は東京ジオテック株式会社に帰属します。

※土留めFEM解析は関口-太田モデル、修正カムクレイモデル、ECモデル、LCモデルには未対応です。

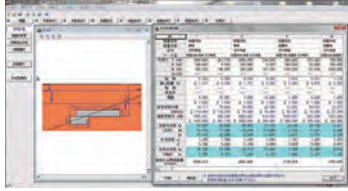


EX エクシードシリーズ 地盤改良

直接基礎（改良）の設計

安定計算・地盤改良層厚の計算・深層混合改良の計算・地盤種別の計算を行います

地盤改良層厚では、許容支持力度並びに極限支持力を満足する改良層厚を計算します。安定計算では、転倒・滑動・支持地盤の支持力に対する安定性の検討を行うほか、突起や置換え基礎の検討も行うことが



ができます。深層混合改良では、改良地盤の鉛直支持力・水平抵抗の計算のほか偏土圧を考慮した滑動・拔出し・地盤反力の計算を行います。また、地盤種別の判定が行えます。また「深層混合処理工法設計・施工マニュアル」に準じ擁壁基礎の計算も行います。地盤種別の計算は、「道路橋示方書」と「土地改良基準」が選択できます。

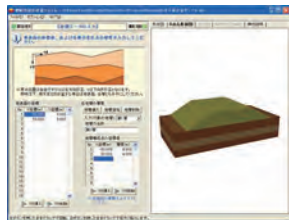
EX エクシードシリーズ 地盤改良 開発

地耐力設計計算システムST版／EX版

沈下量の計算・円弧すべりによる安定計算等を行います

沈下量の計算、円弧すべりによる安定計算、直接基礎の許容鉛直支持力の計算、地盤改良層厚の検討を行うシステムです。

また、EX版は深層混合処理工法の設計も可能です。沈下量の計算では「圧密沈下量」、「即時沈下量」、「残留沈下量」、「側方変位量」の計算を行う事が可能です。許容鉛直支持力の計算では「水平地盤上の直接基礎の支持力」、「傾斜地盤上の直接基礎の支持力」の計算を行う事が可能です。

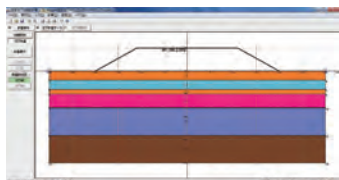


EX エクシードシリーズ 地盤改良

圧密沈下の設計計算

粘性土・砂質土・泥炭地盤の圧密沈下量の計算を行います

粘性土・砂質土・泥炭地盤の圧密沈下量の計算を行います。粘性土の圧密沈下(e-logP法・mv法・Cc法)・即時沈下・残留沈下・側方変位の各計算を行います。各沈下計算および施工段階ごとの沈下図・時間-沈下曲線を確認することができます。また、別製品の「斜面の安定計算」と連動し、沈下後の安定計算が可能です。



EX エクシードシリーズ 地盤改良

不同沈下の計算

2Dカラーコンター、3Dグラデーション、3Dワイヤーフレームで沈下図を表示します

「道路土工・軟弱地盤対策工指針」や「建築基礎構造設計指針」などに基づいて、平面的な地盤沈下量の計算を行うことができます。指定した測点位置での即時沈下量、圧密沈下量及び、圧密時間を考慮した残留沈下量の計算が可能です。



圧密沈下量及び残留沈下量の計算には、e-logP法、Cc法、mv法による計算が可能です。なお、即時沈下量にはSteinbrennerの式を使用します。

EX エクシードシリーズ 地盤改良

液状化の検討

液状化に対する抵抗率FLを計算し液状化の判定を行います

「道路橋示方書・同解説 V 耐震設計編」「建築基礎構造設計指針」に基づき、液状化に対する抵抗率FLを計算し、液状化の判定、液状化指数の計算を行います。「道路橋示方書」の場合、流動化の判定を行い、流動力の計算を行う事ができる他、標準貫入試験のN値から砂のせん断抵抗角 ϕ の推定を行う事もできます。

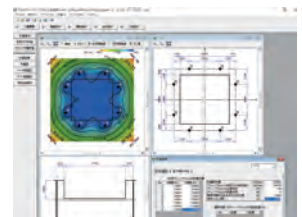


EX エクシードシリーズ 地盤改良

ウェルポイント・ディープウェル工法の設計

ウェルポイント工法・ディープウェル工法の設計および圧密沈下計算・リチャージ水量の計算を行います

ウェルポイント・ディープウェル工法では、掘削部周囲の排水井戸の自動配置機能により最適な位置を設計します。また、等水位線図で掘削周辺の水位の低下状況が確認できます。井戸設置変更や掘削内の井戸の追加などで水位の低下をシミュレーションすることができます。



圧密沈下計算では、地下水位低下による沈下量の計算を行います。リチャージ水量の計算では、被圧層の場合及び自由水面の場合に分けて水量を計算します。

RC単純床版橋設計システム ST版/EX版

鉄筋コンクリート単純床版橋の設計を行います

断面力の算出にオルゼンの解析法、道路橋示方書の簡便法、単純梁として計算する方法（H24道示のみ）のいずれかをを用いて、鉄筋コンクリート単純床版橋の設計を行うシステムです。入力を行いながら画面に断面図、平面図など表示できるので入力ミスを未然に防ぎます。入力方法や書籍から抜粋した許容値などが入力中に表示されるので簡単に入力できます。

EX版では配筋図エクスポート機能を装備しています。

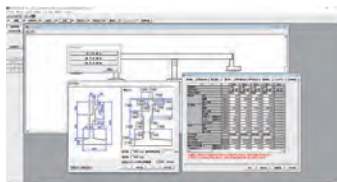


固有周期の計算

「道路橋示方書・同解説」(H29) 等に基づき、固有周期の計算、桁かかり長の計算から構成されています

固有周期の計算は、設計振動単位による固有周期を算出し、設計水平震度・慣性力などの計算を行います。用意された定型上部工や定型下部工の形状寸法を入力することで、重量や断面定数がセットされます。

また当社製品の「逆T式橋台の設計」等の下部工関連、「杭基礎の設計」等の基礎工関連とのデータ連動が可能です。基礎形式は「直接基礎」「杭基礎」「岩盤上の直接基礎」「深礎杭」に対応しています。また地盤ばね定数を直接入力することも可能です。



固有周期の計算(H24年道示版)

設計水平震度・慣性力などの計算を行います

「道路橋示方書・同解説(平成24年)」に基づき、固有周期の計算・桁かかり長の計算・反力分散査の設計・等価線形化法による耐力照査を行います。固有周期の計算は、設計振動単位による固有周期を算出し、設計水平震度・慣性力などの計算を行います。用意された定型上部工や定型下部工の形状寸法を入力することで、重量や断面定数がセットされます。また当社製品の「逆T式橋台の設計(H24年道示版)」等の下部工関連、「杭基礎の設計(H24年道示版)」等の基礎工関連とのデータ連動が可能です。



逆T式橋台の設計

「道路橋示方書・同解説」(H29) に基づき、作用力の計算、直接基礎の安定計算、部材設計から構成されています

「道路橋示方書・同解説」に基づき部分係数法による逆T式橋台の設計を行います。杭基礎は「永続・変動作用時」は「杭基礎の設計」と、液状化が生じると判定される地盤上にある場合には「偶発作用時」として「杭基礎の耐震設計」との連動により一連で設計を行います。

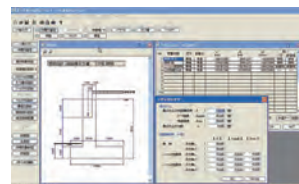
「荷重係数」「組合せケース」「補正係数」はあらかじめ設定されており、荷重係数・補正係数の編集や組合せケースの追加も可能です。部材設計は「パラベット」「たて壁」「フーチング」「ウイング」「橋座」「突起」「踏掛版」に対応しています。



逆T式橋台の設計(H24年道示版)

作用力の計算・杭基礎の安定計算・直接基礎の安定計算・部材設計から構成されています

「道路橋示方書・同解説(平成24年)」に基づき常時、レベル1地震動(震度法)の逆T式橋台の設計を行います。作用力の計算・直接基礎の安定計算・杭基礎の安定計算・部材設計が行えます。また別製品の「杭基礎の設計(H24年道示版)」「杭基礎の耐震設計(H24年道示版)」と連動することにより一連で設計が可能です。



重力式橋台の設計

「道路橋示方書・同解説」(H29) に基づき、作用力の算定、直接基礎の安定計算、部材設計から構成されています

「道路橋示方書・同解説」に基づき部分係数法による重力式橋台の設計を行います。杭基礎は「永続・変動作用時」は「杭基礎の設計」と連動し、液状化が生じると判定される地盤上にある場合には「偶発作用時」として「杭基礎の耐震設計」とのファイル連動が可能です。

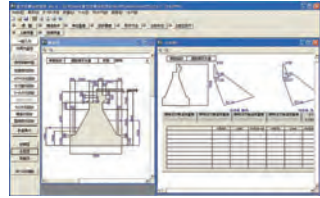
「荷重係数」「組合せケース」「補正係数」はあらかじめ設定されており、荷重係数・補正係数の編集や組合せケースの追加も可能です。部材設計は「パラベット」「たて壁(許容応力度法)」「前フーチング(許容応力度法)」「ウイング」「橋座」「突起」「踏掛版」に対応しています。



重力式橋台の設計(H24年道示版)

安定計算・杭基礎の安定計算・直接基礎の安定計算・部材設計から構成されています

「道路橋示方書・同解説(平成24年)」に基づき常時、レベル1地震動(震度法)の重力式橋台の設計を行います。作用力の計算・直接基礎の安定計算・杭基礎の安定計算・部材設計が行えます。また別製品の「杭基礎の設計(H24年道示版)」の連携が可能です。



RC 橋脚の設計

道路橋示方書・同解説(H29)等に基づき、張出式RC橋脚の設計を行います

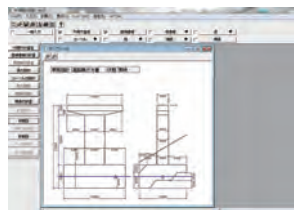
平成29年11月の道路橋示方書で導入された、荷重係数($\gamma_p \cdot \gamma_q$)および部分係数法を新たに導入し、永続・変動作用支配時およびレベル2地震動、衝突荷重を考慮した偶発作用支配時における設計を行います。作用力の算定/直接基礎の安定計算/梁の設計/柱の設計/底版の設計/橋座の設計から構成されています。杭基礎の設計の「永続・変動作用」および「偶発作用(L2地震)」は別プログラムと連動して設計が可能です。



RC 橋脚の設計(H24年道示版)

作用力の算定・直接基礎の安定計算・杭基礎の安定計算・梁の設計・柱の設計・底版の設計から構成されています

「道路橋示方書・同解説IV下部構造編」に基づき作用力の算定/直接基礎の安定計算/杭基礎の安定計算/梁の設計/柱の設計/底版の設計から構成されています。設計検討は、常時・暴風時およびレベル1地震時に対しては許容応力度法で、レベル2地震時の検討は地震時保有水平耐力法により照査を行います。また別製品の「杭基礎の設計(H24年道示版)」の連携が可能です。



落橋防止壁の設計

道路橋示方書に基づき落橋防止対策を行います

「既設橋梁の耐震補強工法事例集」を参考に「道路橋示方書・同解説V耐震設計編」に基づき、落橋防止対策を行うプログラムです。沓座拡幅現状調査/沓座拡幅の設計/落橋防止壁の設計が行えます。



既設橋脚の補強設計

道路橋示方書に基づきRC橋脚の補強設計を行います

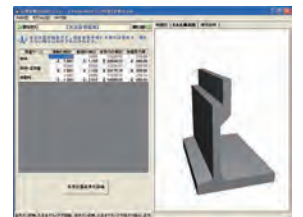
「道路橋の耐震設計に関する資料」「緊急輸送道路の橋梁耐震補強3箇年プログラムにおける耐震補強マニュアル(案)」及び「既設橋梁の耐震補強工法事例集」を参考に「道路橋示方書・同解説V耐震設計編」に基づき、RC橋脚の補強設計を行うプログラムです。既設橋脚の損傷判定及び補強後の損傷断面、曲げ耐力、せん断耐力、変形性能の照査が行えます。



任意形橋台設計システム

橋台に対する安定計算及び断面計算を行います

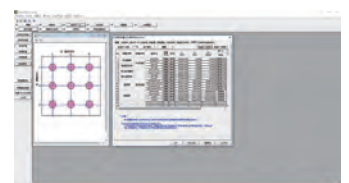
形状寸法を座標値で入力することにより、さまざまな形状の橋台に対する安定計算および断面計算を行うシステムです。入力を行いながら画面上に断面図を表示するため入力ミス未然に防ぎます。安定計算では「滑動に対する安定」、「転倒に対する安定」、「支持地盤の支持力に対する安定」、「最大地盤反力度の照査」を行う事が可能です。各部材の断面計算では曲げに対する照査、せん断力に対する照査を行います。



杭基礎の設計

「道路橋示方書・同解説」(H29)に基づき、液状化の検討、支持力計算、安定計算、断面計算、杭頭処理が一連で行えます

鋼管杭・RC 杭・PHC 杭・場所打ち杭・H 鋼杭・SC 杭・鋼管ソイルセメント杭に対応し、杭列数は1列から30列まで可能です。「逆T式橋台の設計」等からの一連の操作で、下部工の作用力



(計算ケース)が内部連動し安定計算後、基礎反力が下部工の底版の設計へ反映されます。また「補正係数」はあらかじめ設定されており、編集も可能です。液状化の検討、支持力計算、安定計算、断面計算、杭頭処理はそれぞれで計算実行と計算書出力が行えます。オプション製品の「設計調書オプション」により設計調書の作成が可能です。

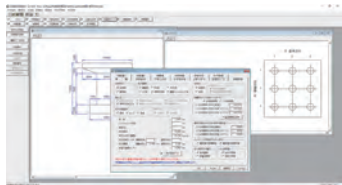
基礎工

EX エクシードシリーズ 基礎工

杭基礎の耐震設計

「道路橋示方書・同解説」(H29)に基づき、
レベル2地震時の照査を行います

鋼管杭・RC杭・PHC杭・SC杭・場所打ち杭・鋼管ソイルセメント杭に対応し、杭列数は1列から30列まで可能です。対象下部工は「橋台」または「橋脚」とし、設計ケースは「地盤流動が生じるケース」「液状化が生じるケース」「地盤流動も液状化も生じないケース」を個別選択、同時選択が可能です。また「逆T式橋台の設計」等からの一連の操作で、下部工の作用力(計算ケース)が内部連動し計算後、基礎反力が下部工の底版の設計へ反映されます。また「補正係数」はあらかじめ設定されており、編集も可能です。オプション製品の「設計調査オプション」により設計調査の作成が可能です。

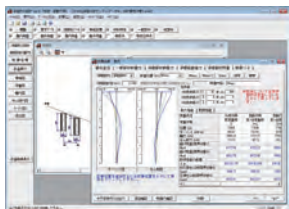


EX エクシードシリーズ 基礎工

深礎杭の設計

「道路橋示方書・同解説」(H29)に基づき、
永続・変動作用支配状況および偶発作用支配状況
(レベル2地震動)に対して深礎杭の設計を行います

「道路橋示方書・同解説」に基づき、永続・変動作用支配状況および偶発作用支配状況(レベル2地震動)に対して深礎杭の設計が行えます。解析モデルは基礎・地盤の非線形を考慮した面内・面外ラーメン骨組みとして解析します。組杭深礎基礎、柱状体深礎基礎(大口径深礎)にも対応できます。又、地層折れ点や、地層(砂質土、粘性土、軟岩、硬岩)に適用できます。「底版の設計(面内)」、「杭頭結合部の設計」にも対応しています。



EX エクシードシリーズ 基礎工

杭基礎の設計(H24年道示版)

水平力・鉛直力・回転モーメントの釣り合い式により
変位を求める変位法により安定計算を行います

主として「道路橋示方書・同解説Ⅳ下部構造編」(H24)に準拠しています。底版を剛体と仮定し杭基礎全体の変位(底版の変位)を杭頭部のバネマトリックスを介して、杭基礎全体に作用する水平力、鉛直力、回転モーメントの釣り合い式より変位を求める変位法により、安定計算を行っています。又、付属するものとして、液状化の検討/支持力の計算/断面計算/杭頭処理/杭比較表/形式選定より構成されています。

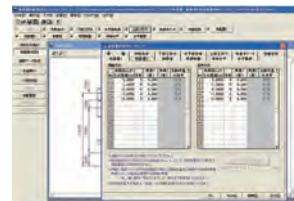


EX エクシードシリーズ 基礎工

杭基礎の耐震設計(H24年道示版)

杭基礎の地震時保有水平耐力法
による耐力の照査を行います

主として「道路橋示方書・同解説Ⅳ下部構造編」(H24)に準拠しています。底版を剛体と仮定し杭基礎全体の変位(底版の変位)を杭頭部のバネマトリックスを介して、地盤及び杭体の非線形性を同時に考慮して断面力を算出しています。又、付属するものとして、液状化の検討より構成されています。

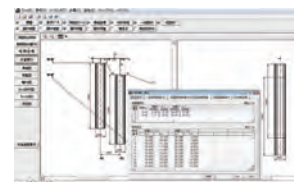


EX エクシードシリーズ 基礎工

深礎杭の設計(H24年道示版)

震度法・レベル2地震時に対して深礎杭の設計を行います

「道路橋示方書・同解説Ⅳ下部構造編」「設計要領第二集」に基づき、震度法・レベル2地震時に対して深礎杭の設計が行えます。解析モデルは基礎・地盤の非線形を考慮した面内・面外ラーメン骨組みとして解析します。組杭深礎基礎、柱状体深礎基礎(大口径深礎)にも対応できます。又、地層折れ点や、地層(砂質土、粘性土、軟岩、硬岩)に適用できます。



PR プライムシリーズ 基礎工

置換コンクリート基礎設計システム

1段～多段の置き換えコンクリート基礎の設計が可能

1段～多段の置き換えコンクリート基礎の、転倒、滑動、支持力、最大地盤反力度に対する検討を行うシステムです。設計要領第二集に記載の斜面上の基礎の許容支持力が計算可能です。「続・擁壁の設計法と計算例」に記載の地盤係数法による安定計算も可能です。多段の置き換えコンクリート基礎の場合、各段境界のせん断応力度の照査が可能です。



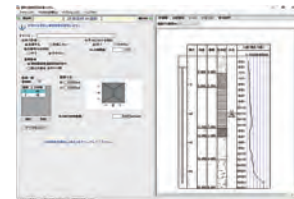
PR プライムシリーズ 基礎工

建築杭基礎設計システム

「建築基礎構造設計指針」、「国土交通省 告示」
を参考に、杭基礎の設計を行います。

「国土交通省告示 第1113号」または「建築基礎構造設計指針(2019)」に基づき建築物の杭基礎の支持力計算、水平力に対する設計を行うシステムです。支持力計算では、「建築基礎構造設計指針」、「建築基準法 告示1113号」の方法を選択して計算できます。

水平力に対する検討では、コンクリート、鋼材、PC鋼材の特性値が予め登録されており、登録されているものから使用材料の選択ができます。登録されている材料の特性値を任意に変更すること、新規に材料を登録することも可能です。



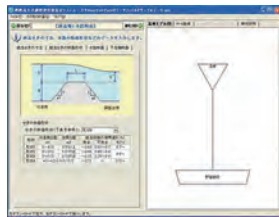
開発

PR プライムシリーズ 開発

横越流方式調整池容量算定システム

横越流方式の調整池(調節池)の容量計算を行います

横越流方式調整池容量算定システムは下水道雨水調整池技術基準(案)、防災調節池等技術基準(案)などを参考に、河川または水路等に接してその側壁又は堤防の一部を低くして越流せきとすることにより、下流の流量を減らすことを目的とした横越流方式の調整池の容量計算を行います。

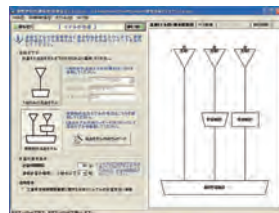


PR プライムシリーズ 開発

調整池(防災調節池)容量算定システム ST版/EX版I・II

オフサイト・オンサイト貯留施設の
水文設計を行います

防災調節池等技術基準(案)、流域貯留施設等技術指針、雨水浸透施設技術指針(案)などを参考にオフサイト貯留施設及び、オンサイト貯留施設の水文設計を行います。また、降雨強度曲線の作成、洪水到達時間の算定、設計堆砂量の算定、洪水吐及び非越流部天端高の計算も可能です。EX版は計画汚水量、計画雨水量の計算を行い分流式、合流式の排水路の流下能力の検討を行うことが可能です。



PR プライムシリーズ 開発

ガレージボックス設計システム

鉄筋コンクリート構造の地下車庫の設計を行います

地下1階式鉄筋コンクリート製ガレージボックス(地下車庫)の安定計算及び部材計算を行うことができます。形状を三次元で表示することが可能なので、形状寸法の入力ミスを未然に防ぎます。



積算

点検

ES エスコンシリーズ 積算

土木積算システム SUPER ESCON Plus

数量計算書読込機能標準装備

「国土交通省土木工事積算基準」「新土木工事積算大系」に基づき、土木工事の積算に使用される標準的な歩掛をデータベース化しています。施工パッケージ型積算へ移行したものの、旧来の歩掛も残してありますので、両方のやり方ができます。作業日数計算から簡易工程表作成、Excelへのデータ出力、編集なども行える使いやすいシステムです。その他、多様なオプションを取り揃えております。



その他の基準・歩掛

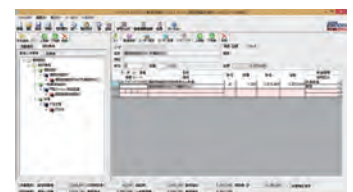
- 下水道基準歩掛データ
- 土地改良基準歩掛データ
- 森林整備基準歩掛データ
- 橋梁撤去データ
- 上水道基準歩掛データ
- 公園・造園基準歩掛データ
- 既設橋梁補修(補強)データ

ES エスコンシリーズ 積算

測量設計等委託業務積算システム SUPER ESCON

測量、設計、地質調査等の委託業務積算を行います

「設計業等準積算基準書(国土交通省)」を基本として、測量、設計、地質調査等の委託業務積算に使用される標準歩掛、基本単価をデータベース化しています。変化率計算や設計条件の入力を一括でわかりやすくすることで効率良くご利用いただけるシステムです。その他、多様なオプションを取り揃えております。



その他の基準・歩掛

- 土地改良基準歩掛データ
- 上水道基準歩掛データ
- 下水道基準歩掛データ
- 用地調査基準歩掛データ

iT

アイテンシリーズ

点検

河川点検システム iTEN-River

河川の調査・点検業務の効率化を支援するシステム

河川の調査・点検業務の効率化を支援するシステムです。過去の点検情報をエクセルでシステムに取り込むことが可能です。現場での点検作業はタブレットで完結し、点検結果はExcelに出力することができます。



オプション製品(無償)

対象製品のサブスクリプションサービス期間、ご利用いただけます。

製品名	対象製品
01 ニューマーク法による円弧すべりの計算 Ver.5	→ 斜面の安定計算
02 グラウンドアンカーの設計 Ver.4	→ 土留め工の設計、弾塑性法による土留め工の設計
03 設計調書オプション(下部工)	→ 逆T式橋台の設計、重力式橋台の設計
04 出力ツール Ver.4	→ エクシードシリーズ製品のいずれか
05 設計調書オプション(基礎工)	→ 杭基礎の設計、杭基礎の耐震設計

セット製品

エクシードシリーズ

01 擁壁セット	→ 片持ばり式擁壁の設計/重力式擁壁の設計/もたれ式擁壁の設計/ブロック積擁壁の設計
02 橋梁下部工セット	→ 固有周期の計算/逆T式橋台の設計/重力式橋台の設計/杭基礎の設計/杭基礎の耐震設計
03 FRAMEセット	→ MY-FRAME平面骨組解析/SECT-RC RC断面設計
04 管設計セット	→ 管路の設計/管の耐震設計/スラストブロックの設計/一体化長の計算
05 災害対策セット(土工)	→ 斜面の安定計算/斜面对策工オプション/落石防護擁壁の設計/落石防護網・柵の設計
06 災害対策セット(河川)	→ 等流の計算/不等流の計算/堤体の安定計算/かご工・平張工の設計

プライムシリーズ

01 開発許可申請セットⅠ	→ RC単純床版橋設計システムEX版/任意形擁壁設計システムST版/調整池(防災調節池)容量算定システムST版
02 開発許可申請セットⅡ	→ RC単純床版橋設計システムEX版/任意形擁壁設計システムST版/地耐力設計計算システムST版

エスコンシリーズ

土木積算システム SUPER ESCON Plus

01 基本システム	→ 基本プログラム(国交省)/作業日数計算(簡易工程表作成)プログラム/EXCEL計算式出力プログラム
02 橋梁セット	→ 基本システム/既設橋梁補修(補強データ)/橋梁撤去データ
03 上水道セット	→ 基本システム/上水道基準歩掛データ
04 下水道セット	→ 基本システム/下水道基準歩掛データ
05 上下水道セット	→ 基本システム/上水道基準歩掛データ/下水道基準歩掛データ
06 土地改良セット	→ 基本システム/土地改良基準歩掛データ

測量設計等委託業務積算システム SUPER ESCON

01 基本システム	→ 基本プログラム
02 土地改良セット	→ 基本システム/土地改良基準歩掛データ
03 上下水道セット	→ 基本システム/上水道基準歩掛データ/下水道基準歩掛データ

サブスクリプションサービス

弊社が提供するサブスクリプションサービスは、製品の最新機能や修正を含むプログラムアップデート、後継バージョンリリース時の無償提供、問い合わせ数無制限の技術サポートなど多岐に渡ります。
これらのサービスとサポートによりお客様は製品を「安心」「安全」「快適」に継続してご利用いただけます。

ボリューム ライセンス



メンテナンス& アップグレードフリー



導入後も安心 サブスクリプション サービス

フローティング ライセンス



動画配信サービス



サポート



総合メニュー ランチャー



	エクシードシリーズ	プライムシリーズ	エスコンシリーズ
ボリュームライセンスの提供	○	○	○※
フローティングライセンスに対応	○	○	○
メンテナンス&アップグレードフリーサービス	○	○	○
サポートサービス	○	○	○
総合メニューランチャーの提供	○	○	○
動画配信サービス	○	○	○
測量設計等委託業務積算システムお試し版(1か月)提供	×	×	○
測量設計等委託業務積算システム初期導入費無償	×	×	○

※ 1ライセンス目のみ。2ライセンス目以降は1製品1チケット。

問合せ先



株式会社 アークシステムプランニング

〒640-8341
和歌山県和歌山市黒田1丁目2-4 寺本興産ビル
TEL 073-488-9250 FAX 073-488-9252

開発元



株式会社 総合システム

本 社 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-10-8 パシフィックマークス肥後橋
代 表 TEL06-6441-3551 FAX06-6441-3552
営 業 TEL06-6441-3561

東京事務所 〒101-0047 東京都千代田区内神田1-4-13CRC北大手町ビル
TEL03-3295-3551 FAX03-3295-3552

鳥取開発室 〒680-0846 鳥取県鳥取市扇町71ビエントビル
TEL0857-30-0910 FAX0857-30-0915